

科目名 (科目番号)	臨床栄養学 I (092211)	教員名 菊池浩子	学科等	保健栄養	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
			オフィスアワー				
授業概要	<p>傷病者・要介護者に対して、病態や栄養状態に合わせた適切な栄養管理を行うために、栄養アセスメントならびに必要な栄養量算出の原則について総論を学ぶ。各論として消化器疾患の栄養管理を学ぶ。栄養管理には、多方面のデータや理論を用いる必要性を理解し、根拠に基づいて考える態度を養う。チーム医療への参画を想定し、他職種との連携が可能となるように、管理栄養士としての専門性と、チームの中での管理栄養士の役割の両方について、各自が自立して考えられる態度を養う。</p>						
準備学習	<p>毎回の授業について、(少なくとも)1時間程度の予習・復習をすること</p>						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	臨床栄養学とは	到達目標:医療における臨床栄養学の必要性と栄養管理プロセスが説明できる 学習内容:臨床栄養学を学ぶ意義と目的・目標について考察し理解する。				
	2	栄養管理の基礎(1)	到達目標:栄養スクリーニングについて説明できる 学習内容:栄養スクリーニングの意味とツール、身体計測・症候を学ぶ				
	3	栄養管理の基礎(2)	到達目標:臨床検査に基づいた客観的栄養評価について説明できる 学習内容:一般臨床検査の種類と意義、基準値、静的動的評価の考え方を学ぶ				
	4	栄養管理の基礎(3)	到達目標:嚥下障害および栄養障害状態の栄養評価について説明できる 学習内容:摂食嚥下機能評価ならびに栄養障害の栄養評価について学ぶ				
	5	栄養管理の基礎(4)	到達目標:栄養診断についての概要を説明できる 学習内容:栄養診断について意義・目的・用語ならびに記録方法を学ぶ				
	6	栄養管理の基礎(5)	到達目標:栄養介入のためのエネルギー量とたんぱく質量が算出できる。 学習内容:栄養評価に基づいた栄養介入のための栄養量算出方法を学ぶ。				
	7	栄養管理の基礎(6)	到達目標:栄養介入に必要な栄養量が算出できる。 学習内容:栄養評価に基づいた栄養介入のための栄養量算出方法を学ぶ。				
	8	栄養管理の基礎(7)	到達目標:栄養管理の基本である栄養管理プロセスが説明できる。 学習内容:栄養の問題点抽出から栄養管理計画立案までを多角的に考察する。				
	9	栄養補給法(1)	到達目標:経消化管栄養法における栄養補給法が理解出来る 学習内容:経消化管栄養法における栄養補給法を治療食の種類も含めて学ぶ				
	10	栄養補給法(2)	到達目標:経静脈栄養法における栄養補給法が理解出来る 学習内容:経静脈栄養法における栄養補給法を器材と投与ルートも含めて学ぶ				
	11	疾患・病態別の栄養管理(1)	到達目標:臨床栄養で必要な消化吸収と代謝の概念が理解出来る 学習内容:栄養管理に必要な消化吸収と代謝について疾患と関係付けて学ぶ。				
	12	疾患・病態別の栄養管理(2)	到達目標:消化管疾患における栄養療法:上部消化管疾患が理解出来る 学習内容:消化管疾患における栄養療法:上部消化管疾患を中心に学ぶ				
	13	疾患・病態別の栄養管理(3)	到達目標:消化管疾患における栄養療法:下部消化管疾患が理解出来る 学習内容:消化管疾患における栄養療法:下部消化管疾患を中心に学ぶ				
	14	疾患・病態別の栄養管理(4)	到達目標:消化管疾患における栄養療法:肝疾患が理解出来る 学習内容:消化管疾患における栄養療法:肝疾患を中心に学ぶ				
	15	疾患・病態別の栄養管理(5)	到達目標:消化管疾患における栄養療法:胆・膵疾患が理解出来る 学習内容:消化管疾患における栄養療法:胆・膵疾患を中心に学ぶ				
成績評価の方法・基準	<p>中間試験(20%)、期末試験(80%)を総合的に判断して評価します。 これらの項目の総合評価への寄与割合は、授業開始時に確認伝達します。</p>						
教科書	健康・栄養科学シリーズ 臨床栄養学 改訂第3版	中村丁次、外山健二、川島由起子 編			南江堂		
参考図書	病気がみえるシリーズ(vol.2消化器) 認定NSTガイドブック	医療情報科学研究所 日本病態栄養学会 編			メディックメディア メディカルレビュー社		
教員からのメッセージ	<p>授業の進度順番内容は、学生さんの興味関心や必要に応じて、上記の内容を変更する場合があります。 参考書は、上記以外にも授業内に適宜紹介します。臨床栄養学は、人体の構造と機能、生化学、疾病の成り立ち、基礎栄養学、応用栄養学といった複数の科目を総合的に理解していることが前提となります。臨床栄養学の授業内容は、臨床栄養学IIに続きます。栄養量の計算では電卓を使います、ご用意ください。</p>						